

やまめ

139号

五木村議会だより 2022.1.31発行



火あそびは、
ぜったいしませ〜ん!

いつき保育園幼年消防クラブ (五木村消防団出初式にて)

- 議長新年あいさつ
- 子育て世帯への臨時特別給付金 (12月定例会)
- 上・下球磨消防組合の統合は (一般質問)
- 新成人 山尾一樹さん (村人インタビュー)

新年

明けましておめでとうございます

皆様には、希望に満ちた輝かしい新年を健やかに迎えられたことと心からお慶び申し上げます。

年頭に当たり、議会を代表しまして、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年を振り返りますと、村議会では7月に改選が行われ、新体制によるスタートをさせていただきました。国政におきましても、地元選出の金子恭之衆議院議員が岸田内閣において、総務大臣に就任されました。このことは、令和2年7月豪雨災害に被災した球磨川流域の復旧・復興や五木村振興等に大きな支援を頂けるものと存じます。

また、世界的に猛威を奮った新型コロナウイルス感染症も新型株が発生するなど、社会的・経済的に大打撃を受けました。本村では、新しい生活様式のもと、コロナ対策に村民一丸となって取り組みをして頂きました結果、県内唯一の感染者ゼロを更新していると

ところでございます。引き続き、感染予防対策をお願い申し上げます。

令和2年7月豪雨災害から1年が経過し、流域治水プロジェクトを策定され、それに位置付けられた「流水型ダム」についての諸元等が12月7日に国土交通省九州地方整備局の藤巻局長と蒲島県知事が来村され、村と議会に説明がありました。

流水型ダムについては、これまでの貯留型ダムと同規模で計画したいと説明がありました。さらに、五木村振興・再建については、極めて重要であり、国と県で連携しながら最大限の支援を行うと確約されました。しかし議会としては、現段階では容認できない旨を強く伝えたとところです。今後、川辺川ダム対策調査特別委員会等において、村民の皆様のご意見等をお聞きしながら執行部と連携し五木村振興・再建に向けて邁進していききたいと思います。

本村も少子高齢化、過疎化、ダム問題など課題が山積しております。また、新型コロナウイルス感染症の状況も注視しながら、村民の皆様へ寄り添い、執行部と切磋琢磨しながら、議員一丸となり力を結集して「ふるさと五木村づくり」の実現を目指して、より住みやすい五木村となるよう取り組んでまいります。

結びに、この1年が災害のない平穏な年でありますとともに、村民の皆様のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。



五木村議会議長 岡本 精二

12月 定例会

子育て世帯への臨時特別給付金

現金10万円を一括支給

こんなことが
決まりました

令和3年第4回五木村議会定例会が12月14日から12月16日までの3日間の会期で開会。上程された案件は「条例の一部改正」1件、「村道路線の廃止」1件、「村道路線の認定」1件、五木村一般会計及び特別会計の5件の計8件。一般質問は第2日目に4名の議員が村政について質した。

また、9月定例会で決算認定審査特別委員会に付託されていた「令和2年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定」については、指摘事項を次年度予算へ反映されるよう要望し、10件の全会計を認定した。

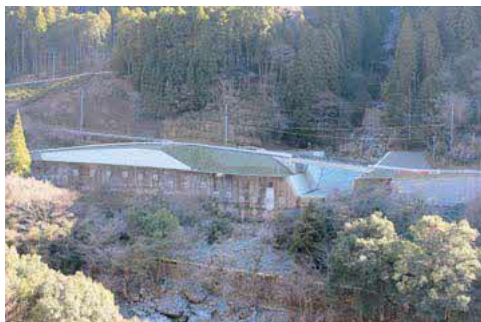
第2日目には、執行部より一般会計補正予算の追加提案として、「子育て世帯への臨時特別給付金」の追加分が提出され、対象103世帯への年内10万円一括支給として可決された。

全議案承認、可決され、2日間の日程で閉会しました。

— 第4回定例会 議案審議の結果 —

賛成…○ 反対…× 欠席…欠

議案名	園田 良治	早田 吉臣	中村 俊也	川邊 正美	田山 淳士	藤本 新一	西村 久徳	審議結果
議案第51号 五木村国民健康保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第52号 村道路線の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第53号 村道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第54号 令和3年度五木村一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第55号 令和3年度五木村国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第56号 令和3年度五木村簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第57号 令和3年度五木村介護保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第58号 令和3年度五木村情報通信事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第59号 令和3年度五木村一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成



12月27日に供用開始された村道神屋敷線

次年度予算への反映を

— 決算認定審査特別委員会報告 —

9月定例会において、特別委員会に付託された「令和2年度五木村歳入歳出決算は、2日間の審査・審議を行った。その結果、3つの意見を付託して委員会としては認定とした。

木下村長より提出された令和2年度五木村一般会計及び特別会計決算について議会は、特別委員会を設置し、令和3年10月13日と11月1日の2日間開催した。1日目は、執行部からの主要施策の成果や歳入歳出決算書の説明を受けて確認しながら、疑義を生じた事業などについて質問や資料の提供を求めた。2日目は資料の説明と特別会計決算について審査を行い、その結果、新型コロナ対策や経済支援については、更なる検証と今後も引き続き細やかな支援に努めること、特別会計では一般会計からの繰出金に依存する会計も多く事業の見直しも視野に入れ、財源確保に向けても十分検討が必要であるなどをまとめ、特別委員会では指摘事項を次年度予算へ反映されることを切望し、下記の意見を付して認定とした。

1. 今後益々厳しい財政状況が予想されるため、行財政改革と定員管理計画を早期に策定し、実践に移すこと。
2. ふるさと五木村づくり計画の残り2年間となるため、事業の見直しを行い、五木村振興に低予算で効果のある事業に取り組むこと。
3. 指定管理団体の経営が厳しい状況にあるので、抜本的な対策を講じるとともに、議会にも随時報告すること。

西谷地区かんがい排水施設整備工事 3,700万円

臨時会

五木村一般会計補正予算3,700万円を追加し28億8,974万2千円

令和3年11月17日、第4回五木村議会臨時会を開会。会期を11月17日1日限りとして、「専決処分の承認について」1件、「一般会計補正予算」1件を議題とした。

「専決処分の承認について」は、新型コロナウイルスワクチン接種（3回目）に伴うシステム改修費用など319万6千円を専決したものの、「一般会計補正予算」は、西谷地区かんがい排水施設整備工事として3,700万円を計上。2議案とも原案どおり可決した。

一般会計補正予算においては、早田議員より、受益者の同意と管理体制の整備が不十分として反対討論があった。

— 第4回臨時会 議案審議の結果 —

賛成…○ 反対…× 欠席…欠

議案名		園田 良治	早田 吉臣	中村 俊也	川邊 正美	田山 淳士	藤本 新一	西村 久徳	審議結果
承認 第2号	専決処分の承認について	○	○	○	○	○	○	○	原案承認 全員賛成
議案 第50号	令和3年度五木村一般会計補正予算(第4号)	○	×	○	○	○	○	○	原案可決 賛成多数



西谷地区かんがい排水施設整備予定地

上・下球磨消防組合の統合は

木下村長 進めるべきと考える



早田 吉臣 議員

質問 熊本県が、以前示した広域消防組合の統合案はどうなっているのか。

村長 平成21年から24年まで城南ブロックの広域協議会が設置され協議されたが、協議が整わず解散。その後、26年から人吉球磨地域消防力強化検討委員会が開催された。最終的に協定の締結まで至らなかった。

質問 昨年の7月豪雨災害を受けて町村会の検証をされ、その中で消防組合の広域化などの議論はされたのか。

村長 正式な議論は行われていない。消防本部が浸水したということと本部中央署、西分署の施設の復旧を下球磨消防議会の中で特別委員会を設置して議論が行われている。

質問 豪雨災害を受けて、消防職員の声から「せめて、上下組合が一緒で、あったなら迅速な対応や対策も出来たのかもしれない」ということも聞いているので、議論を進めるべきではないか。

村長 消防力の強化をこの機会に上・下球磨人吉全体の災害対応力も必要ではないかという意見も出ている。

質問 人吉市長も「激甚化する災害に対応するために常備消防の強化は喫緊の課題である。各市町村とも慎重に意見交換し再編成も考えたい」としている。村長はどう考えているか。

村長 広域化については消防議会、現場の職員の理解を得て私人としては進めるべき、と考えている。

令和4年度予算編成について

質問 令和4年度予算編成に向けての課題と予算編成の柱は現時点でどのように考えているか。

村長 12月13日に来年度予算の基本方針を指示。第6期の基本構想を目指し、また豪雨災害も踏まえてしっかりとやるよう指示している。

質問 13日に指示された取り組みべき方針、柱は何か。

村長 4つの柱。1つ目が「雇用の場の確保と定住に資する施策」2つ目「高齢者の総合的なサポート」3つ目「地場産業と将来を担う人材育成」4つ目に「流水型ダムに係る振興再建の施策」と指示した。

質問 財源確保のためと人材育成、雇用の確保の面から「ふるさと納税」の確保と返礼品の開発が必要ではないか。

村長 現在58品目の返礼品令和3年度に10品目追加をし、新たに9品目を準備中でこれからも充実したい。

質問 返礼品としてクネブを主軸の返礼品とする考えはないか。

村長 クネブは非常に大事であると考えているべきだと思う。

質問 国内最大の流水型ダムをつくるならダムで地域振興を国内で一番の振興策を熊本県に求めるべきではないか。

村長 日本で1番大きな流水型ダムが出来れば日本で唯一ダムによって振興が進んだ村ということ、国・県に支援を求めて行きたい。



令和2年7月豪雨時の人吉下球磨消防本部周辺の様子(人吉下球磨消防組合より提供)

本村を担う子供たちに森林教育を

西教育長 村のモデル林で森林教育をしたい



藤本 新一 議員

小中学校の教育について

質問 五木村の将来を担う子供たちに本村の昔の生活様式を伝えていく教育が必要であると思うが、教育長の考えは。

教育長 本村の歴史や文化、生活様式、農林業の生業など伝えていく教育は大切であり、ヒストリアテラス五木谷の展示品等で学習の場として捉えていきたい。

質問 林業の村であり、森林の果す公益的機能等を教え、林業の担い手となる教育について、多良木町の久米小学校では森林教育を行っており、本村でも学校教育で取り組む考えは。

教育長 村でモデル林が計画されており、その森林で緑の少年団活動等森林教育の場と捉えて取り組みたい。

質問 本村は各学校にPTA林があった。2つの目的があり、子供と保護者で年に2回位の下払い等の作業があり、林業の担い手となる対策と、学校等建設時の地域負担金対策の目的であった。近年では危険が伴う作業でもあり、今はないが、何らかの森林教育が必要であると思うが。

教育長 親子一緒に作業することは大事であると思う。村のモデル林が出来たらPTA行事等として行うことを学校に働きかけたい。

学校跡地等の管理について

質問 旧小学校等の体育館、グラウンド等の管理の状況についてどうなっているか。

教育課長 旧北小、三浦小、西小、下梶原、平沢津の体育館は社会教育施設として活用して

いる。旧北小校舎は、交流館としているが、消防施設点検やエレベーター点検、火災保険、光熱水費、機械点検等の経費として当初予算で256万円ほど計上、また、各グラウンドの草刈り等は地域のボランティアでして頂いている。旧北小のグラウンドの芝刈りは教育委員会の職員もしている。下梶原のグラウンドは使用実績が減っている。小鶴グラウンドと体育館は民有地で借地料が多くなっている。

質問 芝刈りを教育委員会の職員で行っているが、今後対応ができるのか。

教育課長 結構な負担になっているので、今後の対応も検討する必要がある。

質問 村の財政が厳しい中、旧二中校舎や利用度が少ない体育館等は地域の方々と協議して閉鎖や解体が必要ではないか。

村長 将来的に見ても活用し値しない施設は地域の方々と協議とも協議したい。

質問 旧二中校舎の中にある文化財的物を仕分けし、価値のあるものは展示するなど、また、雨漏りも出ているが、村長、教育長はどう受け止めているのか。

教育長 4つの教室も満杯で廊下にもおいてある。同じ物品が何十点もある。専門的な知識を持つ方に仕分けのお願いも必要と思う。

村長 水没された方々の提供された物品であり、失礼にならないように対応した仕分けも必要と考えている。雨漏り等の対応はしたい。

質問 旧二中校舎を解体し、村営住宅にする考えは。

村長 議会と相談したい。



学園グラウンドと旧二中校舎

穴あきダムは村にとって是非か

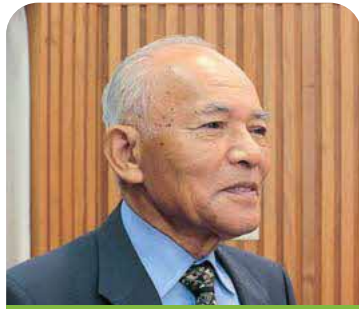
木下村長 全てのデメリットが一つでもあっては困る

新たな流水型ダムについて

質問 国・県が新たに計画している球磨川流域治水の防災対策として流水型ダムを元の予定地である相良村藤田地区にと定め、至る12月7日に我々村議会と執行部に県知事と九州地方整備局長が来村され、報告と説明があった。多目的ダムから流水型ダムへと大きく変更する重大案件であるので、村長には事前に話があったのか。

村長 中身については事前の話はなく、12月7日に諸元についてお話しをしたとのことだけだった。

質問 11月19日の熊日新聞のトップ一面に、「見えない将



西村 久徳 議員

来、募る焦り」、「説明なく、ほったらかし」、「宙に浮く再建」「振興策の先行き不透明」とあり、県・国の急変な方向転換に対する村民の不安と苛立ち、説明不足に対する不信が村民にあるようだが、その取り組みは。

村長 半世紀以上にわたり翻弄され続けてきた事実の中で、今後、村民の皆さんに国や県において安心安全をしつかり行って頂けるよう取り組みたい。

質問 55年の長期にわたる村の存亡をかけた歴代村長、議会、村民の皆様、特に水没者の方々は苦難苦闘の中で今日まで来ているが、またやダム復活とは、県政のトップに立つ人が国の行政を担う人がふらふら行政では困る。村民を不安に落とし入れては困る。国・県は村民へ安心出来る細やかな説明を村と共に早急にすべきではないか。

村長 諸元が出た以上、今日をスタートとして、村の振興、今後についてはしっかりと協議し、村民に理解を得る形で最終的な判断をしたい。

質問 この穴あきダムは、村にとってどんな利点があり、またどんな不利益があると思われるか。前の多目的ダムでは発電があり利水災害防止等があり、また、大口固定資産税も入ってくる予定だったが、穴あきダムではどうなるのか。確かに下流域の災害防止には最大の効果があると思うが、村にとって村民にとっ

てどれだけの影響があると思われるか。特に私どもは村の将来に悪影響を及ぼすことがあってはならない。そして子々孫々に宝を残し、悔いのない対策を講じる必要があると思うが。

村長 ダムの諸元等については提示されたが、村全体への影響、振興策等もまだ示されていない。そういうものが示されたとき、しっかりと村民にも説明をし、全てのデメリットが一つでもあっては困るということ国・県には取り組みをお願いする。

防災対策について

質問 本村は急峻な地形でその中で集落が点在し、災害の危険度が高い。住宅や道路、河川、山林の崩壊など毎年どこかで災害が発生している。大雨のたびに村民は不安である。そこで危険地帯解消対策はどうか。

総務課長 早めの避難を呼びかけている。

質問 五木を守るための五木ダム建設を早く計画にのせるべきではないか。

村長 地域を守る施設であり、機会を捉え訴えていく。議会にも一緒にお願いしたい。

川辺川における流水型ダムの諸元について

川辺川における流水型ダムについては、治水計画上の必要な洪水調節機能を提供するとともに、これまでの付替道路等の各種の生活再建の状況、ダム本体関連工事である転流工の完成などの現地の状況を踏まえ、ダムの位置・高さ・湛水範囲は従来の貯留型ダムと同じとし、ダム型式は重力式コンクリートダムとする。

○流水型の洪水調節専用ダムとして整備
○ダムの位置：
・従来の貯留型ダムと同じ
左岸：相良村大字四浦字藤田
右岸：相良村大字四浦字堂迫

○ダムの諸元：
・重力式コンクリートダム
（従来はアーチ式コンクリートダム）
・ダム高 107.5m（従来と同様）
・堰頂長 約300m
・湛水面積 3,91km²（従来と同様）
・総貯水容量 約13,000万m³
【洪水調節容量、堆砂容量の容量配分は検討中】

注：ダムの諸元については建設の進捗により変更の可能性が有ります。 図 流水型ダムの貯水地平面図

令和3年12月7日に公表されたダムの諸元等資料

村内に新たな介護福祉施設をつくる考えは？

木下村長 着手に向け、現在検討を行っている



中村 俊也 議員

五木村の高齢者福祉の現状と課題について

質問 本村は県内でも高齢化が進み、将来に不安を抱える村民の方々が多くおられる。現在実施されている取り組みや支援の現状を伺いたい。

保健福祉課長 関係組織を中心に、各種支援・補助助成事業、介護予防、交通支援等の制度がある。令和2年度の集計として、脳いきいき教室は実施日が36日、参加者は延べ530名、げんぞう会は実施日77日、参加者711名であった。参加者の高齢化、固定化、少数化が見られる。

質問 高齢者の方々が抱えておられる不安や日常生活にお

ける要望などの集約調査はどのように行っているのか伺いたい。

保健福祉課長 対象の皆様にご協力いただき、アンケート形式で介護予防・日常生活圏ニーズ調査を行った。認知症になると家で暮らしていいのか不安だというご意見が突出して多かった。要望としては、デイサービスやヘルパーなどの介護サービスの充実と施設や入院できる場所を増やしてほしいとの声が多かった。村として認知症関連の様々な取り組みを行っているが、相談窓口を含めて周知度が低く、さらなる広報周知の必要性を感じている。

質問 事業推進に関わる職員が、県内市町村の8割方不足しているという調べがあるが、本村はどうか。

保健福祉課長 職員数が多い訳ではないが支障が出ないよう連携して業務に当たっている。介護認定の審査や事務については、協議会組織が確立しており各市町村それぞれ

協力し合い進めている。

質問 村民の要望を受けた新たな福祉施設等の計画の有無を含め、今後の高齢者支援、福祉政策についての村長の考えを伺いたい。

村長 村長就任後の大きな柱の一つとして、高齢者の総合的なサポートを掲げ、様々な政策を打ってきた。高齢者専用住宅については再検討課題があり一旦ストップ状態であるが、認知対象型グループホームの

着手に向けて現在検討を進めている。



五木村社会福祉協議会



小規模多機能ホーム 五木の友



成人式で交通安全宣言を誓う山尾一樹さん

成人おめでとう
ございます。

①自己紹介。

今年五木村で成人を迎えました
山尾一樹です。

現在、熊本高専八代で建築を学んで
いて、いよいよ卒業の年を迎えました。
来年度から東京の住宅メーカーへと
就職し、施工管理の職に就きます。
新型コロナウイルスの影響もある
中、成人式を通して仲間や恩師に再
会出来たことを嬉しく思います。

②二十歳になってやってみたいことは
あります。

家族とお酒を交えて食事をするこ
とで、焼酎をたしなめるようになり
たいなあと思います。

③将来の夢や目標は何ですか。

自分の家を自分好みに造り建てる
ことです。

あと、仕事でも何でも何かしら五
木村とつながるような事をするこ
とです。

④最後に、村や議会へ望むことがあれば
教えてください。

五木村独自の視点から、他村が真
似できないようなことをして頂き
たいです。

子ども達の声で活気あふれる村づ
くりをよろしく願っています。



令和4年成人式

議会の動き(10月~12月)

- 10月**
- 4日 経済常任委員会 (各委員)
 - 6日 定例全員協議会 (全議員)
県議員研修会 (全議員)
 - 7日 広報委員会 (第3回)
 - 8日 人吉球磨広域行政組合議会決算特別委員会 (田山議員)
 - 13日 決算認定審査特別委員会 (全議員)
 - 14日 定例郡議長会議 (岡本議長)
 - 19日 広報委員会 (第4回)
 - 20日 例月監査 (田山監査委員)
 - 21日 人吉球磨広域行政組合管内施設視察研修 (田山・西村議員)
 - 22日 人吉球磨広域行政組合議会決算特別委員会 (田山議員)
 - 25日 広報委員会 (第5回)
 - 29日 第4回人吉下球磨消防組合議会臨時会 (川邊議員)
- 11月**
- 1日 決算認定審査特別委員会 (全議員)
 - 2日 県道五木湯前線・幸野染田線改良貫通促進期成会
要望 (岡本議長)
 - 5日 人吉球磨広域行政組合議会決算特別委員会 (田山議員)
県広報委員研修会 (各委員)
 - 10日 定例全員協議会 (全議員)

- 16日 定例郡議長会議 (岡本議長)
 - 17日 議会運営委員会 (各委員)
第4回議会臨時会 (全議員)
川辺川ダム対策調査特別委員会 (全議員)
 - 18日 定期監査 (田山監査委員)
 - 24日 例月監査 (田山監査委員)
 - 26日 人吉球磨広域行政組合議会第4回定例会 (田山・西村議員)
人吉下球磨消防組合議会特別委員会・第5回定例会 (川邊議員)
 - 28日 くま川鉄道部分運行再開記念出発式 (岡本議長)
- 12月**
- 1日 定例全員協議会 (全議員)
定例郡議長会議 (岡本議長)
 - 7日 川辺川ダム対策調査特別委員会 (全議員)
国・県説明会 (全議員)
 - 8日 議会運営委員会 (各委員)
 - 14日 議会運営委員会 (各委員)
第4回議会定例会開会 (全議員) ~ 15日閉会
 - 20日 地元国会議員要望及び産業行政視察研修 (岡本議長) ~ 22日まで
 - 23日 例月監査 (田山監査委員)
 - 24日 人吉球磨広域行政組合議会第5回定例会 (田山・西村議員)



笑顔あふれる五木っ子 VOL.8

五木村議会だより

やあめ

139号

2022.1.31発行

発行責任者 五木村議会
編集 議長 岡本精一
議会広報委員会

TEL(0966)37123552

ぼくの好きな五木村

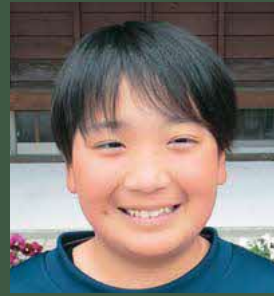


柳川 範斗さん
五木東小学校 6年

ぼくは、五木村の自然と地域の方々が大好きです。美しい自然を見ると、とても心が落ち着きます。周りを見ると、夏には深い緑、秋には赤や黄、オレンジなどの美しい山々が見られます。そして、清流川辺川があります。そして、いつも笑顔で、とてもあたたかい地域の方々がいます。登下校の

時には、あいさつをしてくれます。だから、さわやかな気持ちになります。これからも、五木村の美しい自然を大切にし、あたたかい地域の人に感謝していきたいです。これまで、たくさん支えられてきました。だから、ぼくは五木村が大好きです。

ぼくの自慢の五木村



蓼田 悠太さん
五木東小学校 6年

ぼくの五木村の自慢できることは二つあります。一つ目は、たくさんの自然があることです。世界中で自然が少なくなっていることが問題となっています。しかし、五木村は、山や川をみんなが大切にしています。これは、とてもよいことだと思います。これからは、山や川を守っていききたいです。

二つ目は、みんな協力できることです。一人でせず、みんなが協力して、祭りやこの自然を守っているからです。五木の人のよさは、どこの人から見てもすごい方だと思います。この二つのことからぼくは、五木村が大好きです。これからも、ふるさと五木村を大切にしていきたいです。

月 日 曜日 日直

つぶやき

明けましておめでとうございます。す。

令和4年に入って早いもので一か月が経ちましたが、現在も未知の変異ウイルス感染の拡大で生活環境が変わってしまい、みなさんも大変な思いをしていると思います。一刻も早く感染が治まり普通の生活に戻りたいですね。

園田 良治



五木村議会広報委員会

- 委員長 田山 淳士
- 副委員長 園田 良治
- 委員 中村 俊也
- 委員 川邊 正美

次回の定例会は3月中旬の予定です。皆様の傍聴をお待ちしております。